

目 次

第1章 調査の目的、方法等

1 調査目的	1
2 調査対象者、調査事項、調査方法等	1
(1) 調査対象者	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査事項	1
(4) 調査実施期間	1
(5) 標本抽出方法	1
(6) 標本数及び有効回収数	1
(7) 調査委託機関	2
3 調査の協力者	2
4 調査対象者の基本属性	2
(1) 性別、年齢別 (F 1・2)	2
(2) 同居形態 (F 3)	3
(3) 健康状態 (F 4)	3
(4) 要介護度の状況 (F 5)	4
(5) 日常生活への影響 (F 6)	4
(6) 仕事の有無・現在の職業 (F 7)、(F 7 SQ 1)	4
(7) 仕事の内容 (F 7 SQ 2)	5
(8) 最長職業 (F 8)	5
(9) 移動の手段 (F 9)	5
(10) 経済的な暮らし向き (F10)	6
(11) 都市規模	6

第2章 調査結果の概要

1 地域社会に参加するための環境に関する事項	7
(1) 居住年数 (Q 1)	7
(2) 外出の頻度 (Q 2)	9
(3) 近所づきあいの程度 (Q 3)	11
(4) 親しい友人・仲間の有無 (Q 4)	13
(5) 親しい友人・仲間との関係 (Q 4 SQ)	15
(6) 家族の生活に果たす高齢者の役割 (Q 5)	17
(7) 家事や仕事以外での過ごし方 (Q 6)	19
(8) 趣味などの活動を活発に行うための必要条件 (Q 7)	22
(9) 情報機器の利用状況 (Q 8)	24
2 社会参加活動についての実態と意識に関する事項	26

(1) 参加している活動 (Q 9 a)	26
(2) 活動形態 (Q 9 b)	29
(3) 最も力を入れた活動 (Q 9 c)	31
(4) 最も力を入れた活動の参加頻度 (Q 9—SQ 1)	33
(5) 最も力を入れた活動に初めて参加した時期 (Q 9—SQ 2)	35
(6) 最も力を入れた活動に参加したきっかけ (Q 9—SQ 3)	37
(7) 活動全体を通じて参加して良かったこと (Q 9—SQ 4)	39
(8) 活動に参加しなかった理由 (Q 9—SQ 5)	41
(9) 地域活動への参加意向 (Q10)	43
(10) 今後参加したい活動 (Q10—SQ 1)	45
(11) 活動に参加したい理由 (Q10—SQ 2)	47
(12) 参加している団体 (Q11a)	49
(13) 特に力を入れている団体 (Q11b)	52
(14) 学習活動への参加状況 (Q12)	55
(15) NPO 活動の関心の有無 (Q13)	57
(16) 退職者の地域とのかかわり方 (Q14)	59
(17) 福祉を実現するための主体 (Q15)	61
3 地域活動についての考え方に関する事項	63
(1) 地域のための活動を行う必要条件 (Q16a)	63
(2) 地域のための活動を行う最も必要な条件 (Q16b)	65
(3) 地域のための活動を盛んにする必要な社会的整備 (Q17)	67
(4) 地域のための活動を運営する活動資金の確保 (Q18a)	69
(5) 地域のための活動を運営するための最も望ましい活動資金の確保 (Q18b)	71
(6) 地域のための活動の報酬に対する考え方 (Q19)	73
(7) 高齢者による地域のための活動への国や地方公共団体のかかわり方 (Q20)	75
(8) 高齢者が地域のための活動に参加する上での国・地方公共団体に対する要望 (Q21)	77
4 世代間交流についての実態と意識に関する事項	79
(1) 若い世代との交流の機会の有無 (Q22)	79
(2) 交流の相手 (Q22—SQ)	81
(3) 若い世代との交流への参加意向 (Q23)	83
(4) 参加した若い世代との交流の内容 (Q23—SQ 1)	85
(5) 若い世代との交流に参加したくない理由 (Q23—SQ 2)	87
(6) 世代間交流推進のための必要条件 (Q24)	89
(7) どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じているか (Q25)	91
(8) 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるとき (Q25—SQ)	93

第3章 集計結果

1 調査票と単純集計結果	97
2 クロス集計結果	109